



令和8年3月2日

## 立川防災館地震体験コーナーがリニューアルオープン！

～ 東日本大震災から15年、マンションの地震対策を学ぶ ～

平成4年4月の立川防災館開館以来はじめて、地震体験コーナーのリニューアルを実施し、令和8年3月20日（金・祝）から一般公開を予定しています。

本改修では、東京都民の約6割（約900万人）が居住しているマンションの地震対策を分かりやすく学んでいただけるように、マンションに居住する3人家族を題材に物語が進み、「マンガ」や「オノマトペ」を表現方法として採用しています。高層階特有の長周期地震動や能登半島地震（令和6年）相当の揺れも体験できる施設になっています。（別紙参照）

今般、平成23年3月11日に発生した東日本大震災から15年を迎えるにあたり、一般公開前に、近隣の中学校の生徒を招待したプレ体験会を以下のとおり実施しますので、是非ご参加ください。

※ 本プレ体験は地震体験コーナー限定です。

### 【プレ体験会について】

#### 1 日時：令和8年3月6日（金）AM

##### (1) 11時00分から11時10分まで

当庁幹部（東京消防庁参事兼防災安全課長を予定）のコメント発表

##### (2) 11時15分から12時15分まで

立川市立第四中学校1年生150名によるプレ体験

※体験している中学生の撮影及びコメント撮りが可能です。

##### (3) 12時15分から12時45分まで

プレス向け体験

※記者ご自身の体験が可能です。

#### 2 場所：立川防災館（東京都立川市泉町1156-1）

#### 3 その他

(1) 当庁が推進するマンションの地震対策については、別添え3のとおりです。

(2) 取材を希望される社は、令和8年3月5日(木) 12時00分までに広報課

報道係までご連絡ください。

- (3) 当日は、建物1階出入口付近にて10時30分から受付を行います。受付終了後、順次会場の撮影位置にご案内いたします。
- (4) 立川消防署、立川防災館へのお問合せはご遠慮ください。
- (5) 取材の際は、自社腕章を着用してください。
- (6) 地下駐車場が利用可能ですが、車高2.1mまでです。それより車高の高い車両の駐車については、近隣のコインパーキング等をご利用ください。
- (7) 当該地震体験コーナーのリニューアル概要については、別紙を参照ください。

問合せ先

東京消防庁（代表）	03-3212-2111
防災安全課防災安全係	内線 4259、4228
広報課報道係	内線 2346～2350

## 立川防災館 地震体験コーナー リニューアルコンセプト

- (1) 東京都民の約6割（約900万人）が居住しているマンションの地震対策が学べます。高層階特有の長周期地震動も体験できます。
- (2) 大人だけでなく子ども、在留外国人にも分かりやすく防災について学んでもらえるように、日本の代表的なポップカルチャーである「マンガ」を教材として採用しています。
- (3) 在留外国人向けに学びの核になる漫画アニメーションは英語だけでなく中国語にも対応しています。
- (4) 子ども、高齢者、体に障害を抱えている方にでも容易に体験できるように、起震台を床面から平坦な地続きにすることで、スロープなしに起震台への乗降を可能にしています。
- (5) 過去発生した再現地震も、背面スクリーンと揺れを連動させ、阪神・淡路大震災、東日本大震災、熊本地震、能登半島地震などが、発生した時間に合わせて様々な場面（寝室・学校・繁華街・スーパーなど）で体験可能です。（特に能登半島地震の揺れが体験できるのは立川防災館だけです）

さらに、2025東京デフリンピックでも注目された「オノマトペ」も取り入れ、音を可視化し、映像情報を拡散したくなるようなグラフィックインパクトを際立たせた起震台を制作しました。



# 立川防災館・新地震体験コーナー概要

## ④起震台

各震度階（震度1～7）のほか、長周期地震動（立川では新導入）、過去の地震を再現した揺れを体験することができる（能登半島地震、北海道胆振東部地震、熊本地震、東北地方太平洋沖地震、新潟県中越地震、兵庫県南部地震）、成人6名が同時体験可能、フルフラットで乗り込みが可能となった



before

after



### 背面スクリーン

居室だけでなく、オフィスやスーパー、繁華街の屋外、学校など8種類のシチュエーションがあり、揺れと連動した映像で被災場所による危険性を理解することができる

### 前面ガラススクリーン

オノマトペ表現（「ゴゴゴ」等）や落下物の表現で臨場感が向上。さらにキャラクターが注意すべきポイントを解説し見取り訓練の学習効果を高める



## ②待合を兼ねたプロログギャラリー

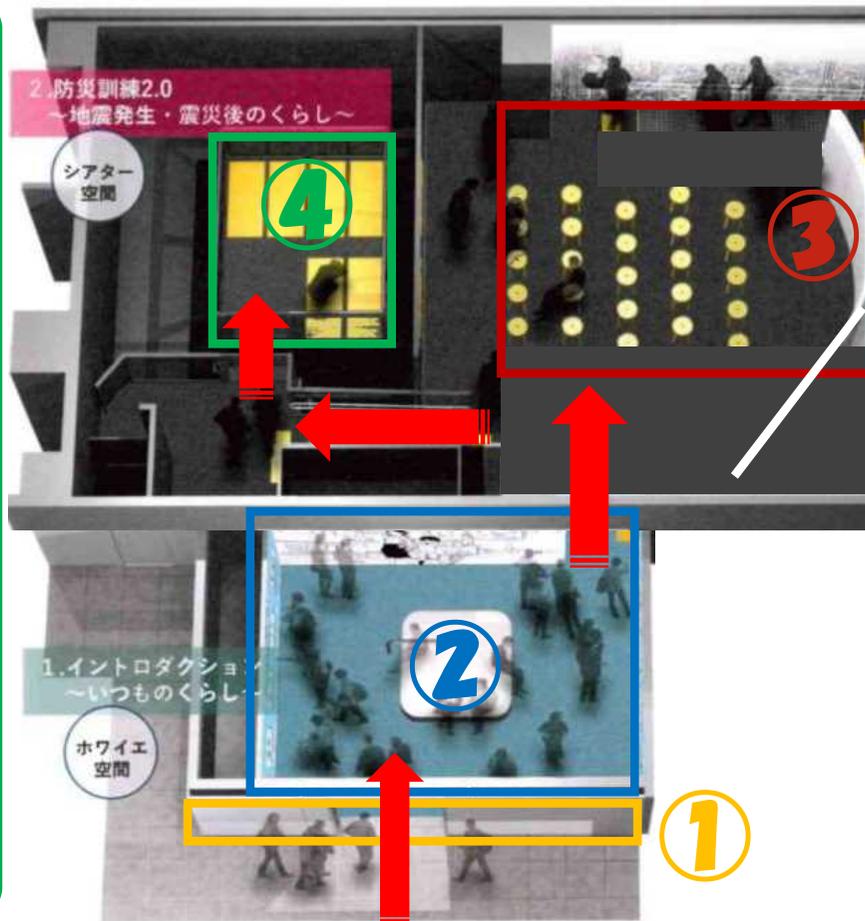
「日常での備え」をテーマに「地震に対する10の備え」をイラスト付きで学べる（各見出し英語併記、二次元コード配置）とともに視聴するアニメーションのキャラクター紹介や普段の生活をイメージさせる居室のイラストを配置。日常を象徴する待合（青基調）と災害を象徴する体験室（黒基調）のギャップにより没入感を高める



before



after



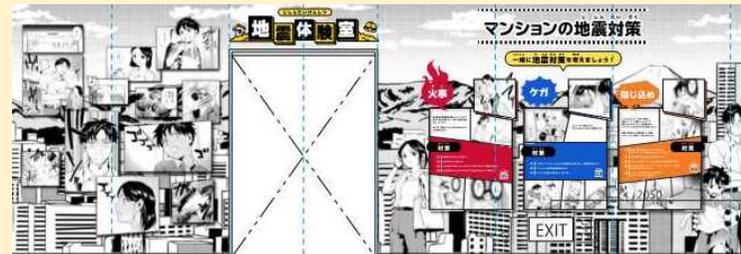
入口（：参加者の経路）

## ①体験コーナー壁面グラフィック

地震時のマンション特有の状況と対策（火事、ケガ、閉じ込め）について、地震体験コーナー参加者以外の来館者も目に付き、広く学ぶことができるとともに、漫画を取り入れた斬新なコーナーであることをアピールし、体験意欲を促す



before



after

## ③「地震その時10のポイントタッチシアター」

それぞれのポイントをタップするとショート漫画ムービー（音声・字幕（英））が展開し、地震後に何がおこるのか及びその対応（10のポイント）を分かり易く学ぶことができる



before

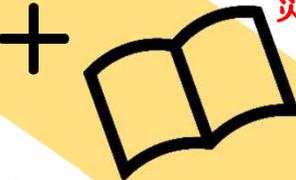
参加者の起震台での体験終了後、座席で身体を180度向きを変えて視聴する。振り返り訓練として活用予定

after



# 1 マンションの地震対策が学べる

- ・長周期地震動が体験可能な起震台に
- ・コーナー入口外壁でマンション特有の状況と対策が学べ、コーナー利用者以外も学習可能
- ・漫画アニメーションに登場するキャラクターはマンション居住者、オフィスビル勤めで、物語で学べる



# 2 漫画を使った演出

- ・震災時のマンション居住者家族を題材にした漫画アニメーション（4分）を視聴し、災害をイメージしてから起震台の体験をすることで**災害を自分事**にできる

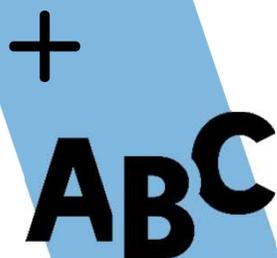


- ・漫画特有の**オノマトペ表現**（例：ゴゴゴ、ガタガタ等）を用い、臨場感のある体験かつインパクトのある演出が可能



# 3 在留外国人にも分かり易く

- ・漫画アニメーションは**英語のほか中国語字幕**に対応。展示も英語を併記するとともに当庁英語ページへアクセスできる二次元コードを配置
- ・起震台前面スクリーン上部に**字幕専用エリア**を設け、読みやすくすることで理解促進。大地震を経験したことのない外国人も自分事ができる



# 立川防災館

# 地震体験コーナー リニューアル

# 5つの進化



# 4 車いすでも楽々

- ・フルフラットの**体験室**に。見取り訓練から起震台での体験までスロープなしで移動可能
- ・体験室内の椅子をすべて移動し、車いす利用者が多い団体も広々利用可能
- ・段差がないため、子どもや高齢者もより安全に体験することができる

# 5 三つのスクリーンで防災学習



① 前面ガラススクリーン  
オノマトペ表現、キャラクターが落下物などの注意すべき**ポイント**を解説し、**学習効果を高める**



② 背面スクリーン  
スーパー、学校、繁華街など**8種類のシチュエーション**で発災時をイメージ  
(照明が消える演出もあり)



③ タッチスクリーン  
「地震その時10のポイント」を**漫画で学べる**

